

令和6年度中野市社会就労センター運営委員会次第

日時：令和6年7月24日（水）午前9時30分

場所：中野社会就労センター

1 開 会

荒井所長

2 あいさつ

荒井所長：中野社会就労センター及び豊田社会就労センターの運営に関する事項を審議するために設置されている。本日の会議では、作業の受託状況や施設の概要について説明する予定。今後も地域の中で、就労センターとしての役割が果たせるように実施。

職員の紹介：小林、町田

3 協議事項

議事進行：町田会長

（1）受託状況及び施設の概要等について

荒井所長：資料に添って説明

- ・受託状況の主は、プラスチック製品やキノコキャップの清掃・組み立て。今年度、プラスチック製品の仕事が減り、新たに果物ネット緩衝用のネットの仕事を始めた。様子は、写真で説明。
- ・利用者の年齢の平均年齢が50代と高く、今年度から、若年層の利用者増加に向けて、飯山養護学校の事業所相談会へ参加。生徒・保護者、5～6組が興味を示した。
- ・工賃支給状況での一人当たりの平均単価に差での差が生じているが、これは、豊田がバス通勤により勤務時間が長い。国・県の平均よりは高く、下回らないようにしている。
- ・防災訓練について、年に2回のうち、1回目は消火とAED2回目は、土砂と水防に向けた訓練を実施する予定。
- ・令和6年度の予算について説明。施設内のLED電気工事が新規。

（2）その他

質問；滝沢委員：歳入と歳出の差が生じているが。

荒井所長：差は一般財源で補っている。

矢沢委員：B型就労ならば、国からの補助金などがあるのではないかな。

荒井所長：雑入の中に国保連から2千数百万円もらっている。

4 その他

町田：今回ご参加いただいた会議の報酬については、8/2振込予定。

小林：利用者の工賃増加のためにも、新たな仕事をご提案をいただければ、こちらで交渉したいのでよろしくお願いします。

5 閉 会

- ・会議終了後、中野社会就労センター作業所内視察